

実社会対応プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

◆課題:「人口減少社会における多様な文化の共生をめざすコミュニティの再構築」

◆研究テーマ:「尊厳ある縮退によるコミュニティの再生と創生」

研究期間:H30.10~2021.9

委託費総額:11,981千円

<研究代表者>

渥美公秀:大阪大学大学院人間科学研究科/教授



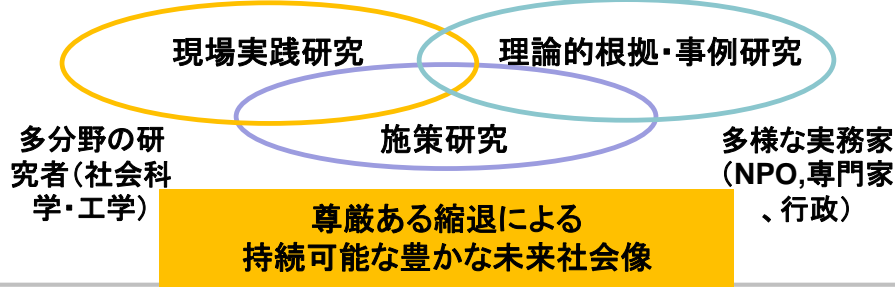
<専門分野>グループ・ダイナミクス/
共生行動論

<Webページ>

<http://sbsk.hus.osaka-u.ac.jp/top.html>

<研究計画の特徴>

多様な学知(研究者)と実践知(NPO,専門家、行政)を融合し、**協働実践**を通じて施策を提言すること



<研究目的・概要>

・人口減少、単身世帯中心、超高齢化とコミュニティの構造が変貌する中で、集落の戦略的な「縮退」が求められているが、理論、実践手法ともに不足している。

市民の自発的意思による「尊厳ある縮退」とは何かを示し(理論)、社会実装(手法・施策)する

- ・集落創生(移転・閉鎖)と再生(存続)プロセスの理論化
- ・尊厳ある縮退、尊厳なき縮退の事例調査
- ・「集落問診票」、「集落夢会議(仮称)」による実践手法の開発
- ・本研究成果をまとめ、社会実装するためのツール(手引き書等)を作成し、シンポジウムを開催して周知する。

「尊厳ある縮退」による持続可能な豊かな未来社会像の提示とその実践手法の提供により地域づくりが活発化する。

<目標とする研究成果>

- (1) 尊厳ある縮退によるコミュニティの再構築(集落創生、再生)パターンを体系化する
- (2) 尊厳ある縮退によるコミュニティの再構築理論および実施手法の提案
- (3) 社会実装に向けたツールの開発、公開

集落問診票等のイメージ



<将来展望>

「尊厳ある縮退」に取り組む地域間の交流、情報交換の場として**プラットフォーム**(WEBおよび年1回の発表会等)を構築し、全国に広げていく。